

公開シンポジウム 2

「有権者は変わりつつあるのか ―制度の影響と投票行動の把握―」

日本学術会議 公開イベントページ

<https://www.scj.go.jp/ja/event/2026/401-s-0811.html>

1. 開催趣旨

近年の政治・社会・経済環境の変化は、有権者の意識や行動にも大きく影響していると考えられる。都市―非都市部間の人口偏在は、選挙の区割りや「一票の平等性」の問題をより困難にしている。有権者の投票を支えるために、投票制度も多様化している。またこうした環境が有権者の投票行動に与える影響も注目される。そして、有権者への影響等を適切に把握し発信するための社会調査の改善も重要である。本シンポジウムは、これらの課題や今後のあり方について情報を共有する。

2. 主催

日本学術会議政治学委員会 現代政治過程における課題分析・制度設計分科会、

共催：文部科学省科学研究費基盤研究(A)「大規模政治意識調査『JESⅧ』による現代民主主義体制の理解・改善・課題解決」

3. 日時

令和8年（2026年）8月11日（火）10：00 ～ 12：15

4. 場所

オンライン開催

使用言語：英語

5. 参加

どなたでも無料でご参加いただけます。

要事前申し込み、お申し込みフォーム <https://forms.gle/b3RvxRoeysPEKZZm9>

6. 次第

10:00 開会

築山 宏樹（慶應義塾大学法学部教授）

10:05 報告

The Unfairness of Fairness and the Fairness of Unfairness: Beyond the Excessive Pursuit of the "One Person, One Vote" Principle

鎌原 勇太（横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授）

10:25 報告

Who Uses Early Voting? A Comparative Study of Japan and Australia

中谷 美穂（日本学術会議連携会員／明治学院大学法学部教授）

10:45 討論・質疑

尾上 成一（慶應義塾大学大学院法学研究科特任助教、東京大学未来ビジョン研究センター特任研究員）

11:05 報告

Does Social Media Use Have a Greater Impact on Voters' Favorites Among Political Leaders Than on Political Parties?

谷口 尚子（日本学術会議第一部会員／慶應義塾大学法学部教授）

11:25 報告

Correcting Nonresponse and Social Desirability Bias in Online Surveys

原田 勝孝（東北大学大学院情報科学研究科准教授）、

松林 哲也（大阪大学大学院国際公共政策研究科教授）、

小椋 郁馬（一橋大学大学院社会学研究科専任講師）

11:45 討論・質疑

築山 宏樹（慶應義塾大学法学部教授）

12:15 閉会

7. お問い合わせ contact.jesproject@gmail.com